

魅力ある高校生にインタビュー



明日へ ジャンプ

No.180

スカイランニングを始めた 時からの目標の舞台へ

四ツ葉学園中等教育学校 5年 ^{くさか たいぞう} 日下 泰造 さん



©国際スカイランニング連盟

日下さんは学校の授業や陸上競技部での活動に日々意欲的に取り組む傍ら、スカイランニング競技に打ち込んでいます。

「スカイランニング競技は、傾斜が急な険しい山や超高層ビルを駆け上がるスピードを競う競技です。この競技に出会ったのは、中等2年生の時でした。当時、友人から誘われて出場した山岳レースで山を駆け上がる楽しさを知りました。もっと山を走ることに挑戦したいと思い、スカイランニング競技を始めました」

スカイランニング競技を始めたきっかけを話してくれた日下さん。現在は桐生市の吾妻山を拠点に活動するクラブに所属し、練習を重ねています。日々の練習の成果が実り、ことしの8月にはイタリアで開催された世界選手権への出場を果たしました。

張りました。それでも、世界大会は競技を始めた頃から目標にしていた舞台だったので、レースを楽しみたいという気持ちで臨みました。結果は入賞できず悔しさが残りましたが、これまで登ったことのないイタリアの山を登り、きれいな景色を見て楽しむことができました」

勉強や陸上競技部での活動と両立しながら練習に取り組み、競技を始めた頃からの目標を達成した日下さんに、これからの目標を聞きました。「もう一度世界選手権に出場して、今度は入賞を目指したいです。そして、卒業後もスカイランニング競技を続けていきたいと思っています」

プロフィール

くさか・たいぞう

体を動かすことが好きで、休日はスカイランニング競技以外にも野球やスキーなどさまざまなスポーツを楽しむ。山から望む景色や自然豊かな所が好きで、将来は山岳救助隊になって遭難者の救助をしたいと話す。

